

せいめいそんちょう

「生命尊重」♡あわれみの心をそだてる♡

約自分の命を大切にすることと同様に他の人及び人間以外のすべての生き物の生命を大切にすることは、幼児の情操に大きく影響していきます。



げんきっこ

R4・5・19

毎日の準備ありがとうございます
年度が始まり新しい環境にもすっかり慣れた子どもたちは、自分の好きな遊びを楽しんだり、親しい友だちや異年齢児、兄弟と誘い合って遊んだり、自分より月齢の小さい友だちのお世話をしてくれたり元気いっぱい過ごしています。
気温が上がり日によっては、汗をかきながら遊ぶ子どもたちですが、おうちの方に用意して頂いた水筒のお茶を飲み、また元気に遊ぶことができます。中には水筒の準備を自分からおうちの方に伝えて用意してもらう子もいます。大好きなおうちの方が自分の為に用意してくれたお茶は喉の渇きを潤してくれるだけでなく、子どもたちがおうちの方との「つながり」を感じ安心することができるアイテムのひとつなのかもしれませんね。

おたんじょうび おめでとう

♡5がつの誕生日会♡

2名の子どもたちのお祝いをしました。先生が頑張っている姿を反してくれ、大きくなったらなりたいたいのを教えてくださいました。



お楽しみは前田先生がタオルシアターをしてくれ、タオルをいろんなものに変身させる様子を見て、子どもたちはタオルが何に変身するのかワクワクしていました。「昆虫太極拳」の体操もみんな楽しんでできました。

食中毒に気をつけましょう！

細菌が原因となる食中毒は6月～8月の夏場に多く発生しています。その原因となる細菌の代表的なものは、腸管出血性大腸菌(0-157、0-111など)やカンピロバクター、サルモネラ菌などです。食中毒予防の3原則は…つけない・ふやさない・やっつけるです。

- つけない…食品を扱う時にはこまめに手を洗いましょう。
- ふやさない…低温で保存しましょう。
- やっつける…加熱・殺菌処理



お弁当の食中毒対策もしっかりとしましょう。清潔な容器を使い、パッキンは汚れやすく、汚れが取れにくいので外して洗いましょう。おにぎりは素手ではなく、ラップで作りましょう。水分の多いものは雑菌が発生しやすいです。よく冷ましてから詰めましょう。
多くの食中毒は細菌、ウイルスが体内に入った1～2日後に起こりますが、細菌の種類によっては30分程度で起こったり、1週間ほど経って起こることもあります。下痢や嘔吐などの症状があった時には自己判断をするのではなく、早めの受診をしましょう。また園内の感染を予防するため必ず職員にお知らせください。

お知らせ
6月2日(木)
ばら組 石見ケーブルテレビ
「おおきくなったらなんになる？」の撮影が入りました。
※また、放送日が決まり次第お伝えします。

6月6日(月)より保育実習に
木村 雫
が入ります。よろしくお願いたします。

衣替え

6月は衣替えの時期、四季のある日本ならではの暮らしの知恵です。子どもは体温調節機能が未熟なため、肌寒い時は1枚多めに着せるのが目安です。
いつから夏ものを着せるという線引きをするのではなく、季節の変わりを肌で感じながら、その日に合わせて衣服を選ぶようにしましょう。
暑い日は水を使って遊ぶことが多くなるので、着替えは多めに持たせるようにして下さい。
泥がついたものは簡単に水洗いをしてお返しするようにはしていますが、洗濯物が増え、下洗いをしていただく時間も増えてしまうかもしれませんが、「今日も楽しく遊んだんだなあ」と思っていたら、ご協力をお願いします。



～6月4日～6月10日は歯と口の健康週間です～

歯と口の健康週間は、厚生省、文部省、日本歯科医師会が1958年から実施している週間です。この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を普及させるとともに、歯科疾病の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療などを徹底することにより歯の健康を延ばし、国民の健康保持、増進に寄与することを目的としています。
普段おうちでされている仕上げ磨きをすることは、磨き残しの多い子どもの虫歯を予防するだけでなく、将来自分で歯磨きができるように成るための磨き方を教える大切な時間(習慣)です。

1 姿勢
お子さんの口の中がよく見えるような状態で、明るい場所で、寝かせ磨きがベストです。

2 持ち方
力の入りすぎないペングリップで、手首の動きをコントロール。

3 磨き方 一箇所につき10～20回を目安に毛先を細かく動かします。

【前歯】
歯をそっと押し上げて磨きます。

【奥歯】
歯をそっと横に広げて磨きます。

外側
歯ブラシは歯面に当て、人差し指を歯肉に軽く当て、指に沿って左右に小刻みに動かします。

内側
歯ブラシを縦に当て、先端を使って1本1本磨きます。

歯と歯の間の溝
歯ブラシを傾けて斜めに入れ、歯の間に毛先を入れるイメージで磨きます。

歯と歯の間の溝
溝に歯ブラシを当て、手前に向かって動かすように磨きます。

※ お子さんの集中力が続くよう、短い時間で手早くみがきましょう。

歯科検診結果から

親子でしっかり歯磨きをして、大切な歯を守りましょう。
全体の虫歯数…41本 5月迄の治療済 7本

大切な歯をいつまでも守りましょう。